様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校穴吹動物看護カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	動物看護総合学科	夜・通信	2350 時間	240 時間	
	動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻	夜・通信	1530 時間	160 時間	
	動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻	夜・通信	1530 時間	160 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://web.anabuki-college.net/disclosure/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校穴吹動物看護カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://web.anabuki-college.net/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士	令和５年５月～令和７年５月	コンプライアンス
非常勤	元銀行頭取	令和５年５月～令和７年５月	企画・調整
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校穴吹動物看護カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度３月にホームページにて公表する。

※シラバスの主な記載項目
⑴科目名
　　その授業の科目名を記載します
⑵学科／学年
　　授業を行う学科名および学年を記載します
⑶年度／時期
　　授業を行う年度および時期（前期・後期）を記載します
　単位制の場合は標準履修年次を記載します
⑷授業形態
　講義もしくは演習、実習等授業形態について記載します
⑸授業時間
　１コマの授業時間（９０分・５０分）を記載します
⑹回数
　授業を行う回数（コマ数）を記載します
⑺単位数（時間数）
　　学則に記載している時間数を単位換算したものを記載します
　　講義：１５時間を１単位とする
　　演習、実習：３０時間を１単位とする
　　時間数は９０分授業の場合、１コマ＝２単位時間
　　５０分授業の場合、１コマ＝１単位時間
⑻必須・選択
　　必須授業もしくは選択授業について記載します
⑼担当教員
　　授業を担当する教員名を記載します
　　複数の教員で担当する場合は全員の氏名を記載します
　　また、実務経験がある教員の場合はその旨を記載します

(10)授業の概要
授業の趣旨を記載します
授業を行うのは教員なので、教員を主語として具体的に記入します
また、実務経験がある教員が授業を行う場合は、実務経験をどのように活かして授業を行うかを記載します
(11)授業終了時の達成目標
授業終了時点において学生が修得している必要がある学修成果について記載します
目標を達成するのは学生なので、学生を主体として記載します
(12)実務経験有無
実務経験の有無を記載します
(13)実務経験内容
実務経験の具体的な内容を記載します
(14)回・テーマ・内容
授業の各回におけるテーマおよび内容について具体的に記入します
※学生の理解度・実態に応じてやむを得ず変更する可能性もあります
(15)教科書・教材
使用するテキストや参考書等を記載します
(16)評価基準
評価方法の項目について記載します
(17)評価率
上記の評価基準についてそれぞれの項目の評価割合を記載します
(18)その他
履修上の注意事項がある場合に記載します
事前学習について記載します

授業計画書の公表方法	https://web.anabuki-college.net/disclosure/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

【学生便覧より抜粋】

（成績評価）
①成績評価は原則として、年２回の期末に各教科の評価を行い、年度末に通年の評価を行う。
（注）同一名称であっても、末尾にⅠ・Ⅱ等の記号の付されているものは、それぞれで別の科目として取り扱う。
②成績評価は、期末テストの他、出席率・確認テスト・課題・レポート・平常の授業態度・本人の向上心を参考に総合的に評価する。
③成績評価はA,B,C,Dの４段階としA,B,Cを合格、Dは不合格とする。
Ａ＝科目に対する理解及び日常の学習状況等が著しく優秀な者。
（80点以上）
Ｂ＝科目に対する理解及び日常の学習状況等が良好な者。
（70点以上79点以下）
Ｃ＝科目に対する理解及び日常の学習状況等がやや劣る者。
（60点以上69点以下）
Ｄ＝科目に対する理解及び日常の学習状況等が著しく劣る者。
（59点以下）

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

【学生便覧より抜粋】

（成績評価）
学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://web.anabuki-college.net/disclosure/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

<table>
<tr><td colspan="2">（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

【学生便覧より抜粋】

（動物看護総合学科）
動物医学の専門知識を活かして、コンパニオンアニマルの医療・看護・健康管理・飼育は勿論、トリミングやトレーニングの技術や知識を兼ね備えた人材の卒業を認定する。

（動物健康管理学科　ペット美容・グルーマー専攻）
ペットを家族の一員と考える文化が浸透する中で、今後ますます要求される専門的な知識と高い技術を持ったトリマーを中心に、ペット関連分野で活躍できる人材の卒業を認定する。

（動物健康管理学科　しつけインストラクター専攻）
ペットを家族の一員と考える文化が浸透する中で、今後ますます要求される専門的な知識と高い技術を持ったトレーナーを中心に、ペット関連分野で活躍できる人材の卒業を認定する。

（卒業条件）
a. 成績評価すべてC以上
b. 年間出席率80%以上
c. 学費が納入されていること
原則として上記条件をすべて満たした者。
但し、相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>https://web.anabuki-college.net/disclosure/</td></tr>
</table>

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校穴吹動物看護カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://web.anabukicollege.net/content/uploads/kessan-kansa.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://web.anabukicollege.net/content/uploads/kessan-kansa.pdf
財産目録	https://web.anabukicollege.net/content/uploads/zaisan-1.pdf
事業報告書	https://web.anabukicollege.net/content/uploads/jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://web.anabukicollege.net/content/uploads/kessan-kansa.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	動物看護総合学科	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	2400 単位時間/126 単位	1400 単位時間/93 単位	60 単位時間/2 単位	940 単位時間/31 単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2400 単位時間／126 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	83 人	0 人	10 人	8 人	18 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 【様式第２号の３より再掲】 カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度３月にホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法

（概要）
【様式第２号の３より再掲】
（成績評価）
学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。

卒業・進級の認定基準

（概要）
【様式第２号の３より掲載】
（卒業条件）
a. 成績評価すべて C 以上
b. 年間出席率 80%以上
c. 学費が納入されていること
原則として上記条件をすべて満たした者。
但し、相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。

学修支援等

（概要）
■個別相談・指導等の対応
担任による本人とのまたは保護者を含めた三者面談の実施。
学びラボによる基礎的な学習支援の実施。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
30 人（100%）	0 人（ %）	29 人（ 97%）	1 人（ 3%）

（主な就職、業界等）
動物病院、ペットショップ等

（就職指導内容）
面接練習、社会人基礎講座、インターンシップ

（主な学修成果（資格・検定等））
愛玩動物看護師合格率 53% JKC トリマーC 級合格率 63%

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90 人	8 人	8.9%

（中途退学の主な理由）
進路変更、病気 など

（中退防止・中退者支援のための取組） ガイダンスの実施、関連セミナーへの参加等

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">動物健康管理学科
ペット美容・グルーマー専攻</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1700 単位時間/78 単位</td><td>650 単位時間/43 単位</td><td>120 単位時間/4 単位</td><td>930 単位時間/31 単位</td><td>単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1700 単位時間／78 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	42 人	0 人	8 人	4 人	12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
【様式第２号の３より再掲】
カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度３月にホームページにて公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）
【様式第２号の３より再掲】
（成績評価）
学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。

卒業・進級の認定基準

（概要）
【様式第２号の３より掲載】
（卒業条件）
a. 成績評価すべて C 以上
b. 年間出席率 80%以上
c. 学費が納入されていること
原則として上記条件をすべて満たした者。
但し、相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。

学修支援等

（概要）
■個別相談・指導等の対応
担任による本人とのまたは保護者を含めた三者面談の実施。
学びラボによる基礎的な学習支援の実施。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 （100%）	0 人 （　　%）	18 人 （　　90%）	2 人 （　　10%）
（主な就職、業界等） トリミングサロン、ペットショップ等			
（就職指導内容） 面接練習、社会人基礎講座、インターンシップ			
（主な学修成果（資格・検定等）） JKC トリマーC 級合格率　80%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ガイダンスの実施、関連セミナーへの参加等		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		文化・教養専門課程	動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻		○		－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1700 単位時間/80 単位	710 単位時間/47 単位	120 単位時間/4 単位	870 単位時間/29 単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1700 単位時間／80 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	21 人	0 人	8 人	4 人	12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 【様式第２号の３より再掲】 カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成

委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度３月にホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 【様式第２号の３より再掲】 （成績評価） 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【様式第２号の３より掲載】 （卒業条件） a. 成績評価すべて C 以上 b. 年間出席率 80%以上 c. 学費が納入されていること 原則として上記条件をすべて満たした者。 但し、相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。
学修支援等
（概要） ■個別相談・指導等の対応 担任による本人とのまたは保護者を含めた三者面談の実施。 学びラボによる基礎的な学習支援の実施。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 （100%）	0 人 （　　%）	8 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） ドッグスクール、ペットショップ等			
（就職指導内容） 面接練習、社会人基礎講座、インターンシップ			
（主な学修成果（資格・検定等）） 家庭犬訓練資格試験（中等科）合格率　50%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

18 人	2 人	11.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気　など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ガイダンスの実施、関連セミナーへの参加等		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
動物看護総合学科	160,000 円	980,000 円	206,300 円	
動物健康美容学科 ペット美容・グルーマー専攻	160,000 円	980,000 円	242,300 円	
動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻	160,000 円	980,000 円	374,300 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://web.anabuki-college.net/content/uploads/apk-rating1.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
①関係者ならではの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける ②自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する ③結果として、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCA サイクルを回し続ける 【学校関係者評価委員会規定より抜粋】 （委員の委嘱等） 委員会を構成する委員は、５名以上とし、本校の職員以外の者で次に掲げる者のうちから、校長が委嘱する。 （１）保護者 （２）本校の卒業生 （３）地域住民 （４）企業関係者 （５）高等学校関係者 （６）その他教育に関する有識者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
南天堂薬局	令和６年４月１日～ 令和７年３月 31 日	近隣居住者委員
はすい動物病院	令和６年４月１日～ 令和７年３月 31 日	業界委員

学生保護者	令和６年４月１日～ 令和７年３月 31 日	PTA
香川県高等学校元校長	令和６年４月１日～ 令和７年３月 31 日	元高校関係委員
香川県高等学校校長	令和６年４月１日～ 令和７年３月 31 日	高校関係委員
	令和６年４月１日～ 令和７年３月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://web.anabuki-college.net/content/uploads/apk-rating2.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://web.anabuki-college.net/department/animal/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H137320100171
学校名（○○大学 等）	専門学校穴吹動物看護カレッジ
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人穴吹学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		26人	24人	26人
内訳	第Ⅰ区分	15人	14人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				26人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
.			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	–
３月以上の停学	0人
年間計	–
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	－	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	－
計	人	－	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。